

令和5年度 是川縄文館考古学講座（前期）

北陸地方の 縄文文化

7月から9月にかけて開催する特別展「北陸の晩期縄文文化」にあわせ、北陸地方の縄文文化の特色や、主要な遺跡について学びます。



玉類（ヒスイ製）
是川中居遺跡 縄文時代晩期

第1回

5/13 土

講師：木島 勉 氏

（長者ヶ原考古館 学芸員）

「縄文時代における翡翠玉の製作と流通」

第2回

6/17 土

講師：町田 賢一 氏

（公益財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査課 副主幹）

「日本海側最大級の貝塚 小竹貝塚」

第3回

7/8 土

講師：荒川 隆史 氏

（公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 調査課長）

「新潟の晩期縄文文化—低地のくらしと交流—」

会場：是川縄文館1階 体験交流室

時間：14時～16時 聴講無料・要申込（定員100名）

※定員に達し次第、受付を終了しますのでお早目にお申込みください。

※社会情勢等により、講座の中止や延期、講演方法の変更をする場合がございます。

お申込み・お問合せは

八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館

〒031-0023 八戸市大字是川字横山1
<https://www.korekawa.jomon.jp>

TEL：0178-38-9511



みなさんご参加
お待ちしております



「調べる学習チャレンジ講座」の開催について

1. 目的

令和5年度開催予定の「第13回八戸市図書館を使った調べる学習コンクール」に向けて、「調べる学習への取り組み方」について学ぶことで、子どもたちの自ら考え学ぶ意欲と情報を活用する力を育てる。

2. 日時

6月10日(土) 13時～15時

3. 場所

八戸市立図書館 2階集会室

4. 講師

中村 伸子氏〈白百合女子大学非常勤講師:司書教諭課程〉

5. 内容

調べる学習の取り組み方について講演及び実習

6. 対象者

小学3年生～中学生とその保護者、学校関係者

7. 定員

20名程度

8. 申込み

5月25日(木)9時から

電話(22-0266)または直接図書館2階へ

(定員になり次第締め切り)

市民のための 歴史講座

HACHINOHE CITY
LIBRARY * MUSEUM

八戸市立図書館（市史講座）と八戸市博物館（市民講座）が連携し、令和4年度より「市民のための歴史講座」として開催してる、共通テーマによる年4回の歴史講座です。

重要有形民俗文化財「八戸及び周辺地域の漁撈用具と浜小屋」指定30年となる今年度のテーマは「八戸は海と共にある」。縄文時代早期の貝塚、近世八戸を支えた海の恵み、クジラとの関係、民俗文化財が直面する現状と課題など、海と共に歩んできた八戸の歴史と文化に目を向けます。

令和5年度テーマ

「八戸は海と共にある」

- 要事前申込
- 各回定員50名
- 参加無料
- どなたでも!

【お問合せ・お申込み】

八戸市立図書館（本館）

青森県八戸市大字糠塚字下道2-1
2階 閲覧相談カウンター
電話：0178-73-3234（歴史資料G）
開館時間：平日 9時～19時
土日祝 9時～17時
休館日：毎月末日（土日の場合は金曜）
祝日の翌平日

八戸市博物館

青森県八戸市大字根城字東構35-1
電話：0178-44-8111
開館時間：9時～17時
（最終入館16時30分まで）
休館日：月曜日（第一月曜を除く）
祝日の翌平日

※時間外のお問い合わせには対応いたしかねます。

日時	演題・講師	会場
令和5年 6月25日(日) 13:30～15:30	クジラー鯨と人の関わりー 八戸市教育委員会社会教育課 副参事 杉山 陽亮	YSアリーナ八戸 (大会議室)
令和5年 7月23日(日) 13:30～15:30	盛岡領における海の玄関 野辺地湊ーその歴史と課題ー 野辺地町歴史を語る会 会長 鈴木 幹人氏	YSアリーナ八戸 (大会議室)
令和5年 10月21日(土) 13:30～15:30	縄文人は海を越えたか？ 同志社大学文学部 教授 水ノ江 和同氏	八戸市博物館 (講義室)
令和6年 1月13日(土) 13:30～15:30	八戸の海と文化財 八戸市博物館 館長 小保内 裕之	八戸市博物館 (講義室)

※先着順での受付となりますので、定員に達し次第、受付を終了いたします。ただし、定員に空きがある場合に限り、当日のお申込みも受け付けます。
※今後の状況により、内容等を急遽変更する場合がございます。あらかじめ御了承下さい。